

# 【地域とともに築く防犯意識】

防犯設備士 / 山形県防犯設備協会 理事  
丸喜屋設備株式会社 代表取締役 兼子 祐喜



山形県内における防犯設備の普及と、防犯意識の向上を目的に、企業経営と並行して各種講演活動や地域連携にも積極的に取り組んでおります。防犯設備士としての専門知識を活かし、皆様の暮らしの安心・安全を支える一助となれるよう努めています。

## 【日常にひそむ危険を見逃さない—川西町防犯講演会で考える“地域の目”的重要性】

2024年11月26日、川西町防犯協会連合会主催による講演会が開催され、地域の防犯関係者や警察署職員、住民の皆さんに向けて、近年の防犯事情について説明を行いました。山形県内でも空き巣や強盗事件が相次いでおり、特に近年は「闇バイト」と呼ばれるSNS等を介した若者による強盗が増加傾向にあること、かつての空き巣対策では対応しきれない現状に、参加者の関心は非常に高く、防犯カメラだけでは十分でない現実や、地域の目が果たす役割の大切さについて熱心に耳を傾けてくださいました。

当日は「知らず知らずのうちに第三者に情報を提供してしまっている」現状にも焦点を当てました。たとえば、「うちは若いもんがいなくて一人なんだ」というような無意識の一言や、SNSでの旅行投稿、洗濯物の干し方など、日常の何気ない行動が犯罪者に狙われるきっかけとなり得ることを具体例を交えて紹介。犯行を思いとどまった理由の調査やALSOKが公表したマーキングの事例なども取り上げ、多くの参加者が驚きとともに深い関心を寄せていました。

昨今、空き巣や強盗などの侵入窃盗は手口が凶悪化、巧妙化

## 代表的なマーキング

\* 実は山形県、全国有数の空き巣泥棒天国！

・最近は闇バイトの強盗事件が多く発、宅配業者を装ったり、窓ガラスを割ったり悪質な手口が多い！

・「空き巣対策として部屋に電気をつけて寝る」といった方法だけでは不十分！

・高層階のマンションも安心できない！



目印	意味	目印	意味
M	男性	○	侵入しやすい、購買・契約してくれる
W	女性	×	侵入できない、購買・契約してくれない
S	一人暮らし	△	侵入できるかもしれない、購買・契約してくれるかもしれない
F	ファミリー	w6-20 (ル)	平日の8時から20時まで留守
学	学生	20SW_9 - 21	20代一人暮らし女性、9時外出、21時帰宅
赤	赤ちゃんがいる	SS	土日休み

参考・画像出典: ALSOK「空き巣が用いるマーキングの種類や狙われたときの対処法を紹介」

## 講演会発表資料の抜粋

## 【防犯をもっと身近に－山形県警との共同ブースで広がる対話と意識】

2025年5月8日、山形市で毎年開催されている植木市において山形県警と協力し、防犯に関する共同ブースを出展しました。展示では、防犯機器の実物紹介やカタログ配布のほか、来場者からの相談にも個別に応じるなど、直接対話の機会を通じて防犯意識の普及を図りました。シニア層をはじめとする多くの地域住民の方々が訪れ、身近な不安を共有しながら具体的な対策を学んでくださいました。



山形市植木祭りでのブース展示

## 【防災と防犯をつなぐ視点－河北ロータリークラブでの対話から広がる地域の連携】

河北ロータリークラブでは「防災と防犯」をテーマにした講演も行いました。きっかけは、月報に掲載された記事「トイレが使えない恐怖」や、元警察官である佐々木成三氏の記事に関心を持った会員からの依頼によるもので、地域防災の視点と防犯の意識を重ね合わせた内容として発信しました。当日は限られた時間の中でしたが、地域社会における連携の重要性や、情報共有の在り方などについても触れ、今後の防犯啓発のヒントとなる時間となりました。9月にはさらに1時間規模の講演も予定しています。



河北ロータリークラブ講演会の様子

## 【まとめ】

これらの活動を通じ、地域の皆様の防犯意識が高まるとともに、「防犯は一人で抱え込むものではなく、地域全体で取り組むべきこと」という共通認識が生まれつつあることを実感しています。今後も引き続き、警察や自治体、地域住民と連携しながら、安心・安全なまちづくりに寄与してまいります。